

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切に作る児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第736号
令和8年7月27日

笑顔があふれる学校を目指して

校長 寺井 純子

7月に実施した児童アンケート「学校は楽しいですか」では、「とても楽しい」と答えた児童が93%、「楽しい」と答えた児童が7%で、全員が学校生活を楽しんでいることが分かりました。

そこで、終業式では子どもたちに、「1学期、学校は楽しかったですか。」と尋ねました。すると、全員が元気よく手を挙げてくれました。「どうして楽しかったのですか。」と聞くと、「友達と仲良く遊べたから。」「勉強で分かることやできることが増えたから。」「練習して鉄棒ができるようになったから。」など、たくさんの声が返ってきました。

また、6月の「笑顔になったこと」の作文には、「地域の方と交流できて笑顔になった。」「友達に助けてもらえて笑顔になった。」「スクールシアターを見て笑顔になった。」などの声も寄せられました。

子どもたちの言葉から、私は「人はどのようなときに笑顔になり、学校を楽しんでいるのだろう」と改めて考えました。教育や心理学では、人は「人とのつながりを感じたとき」「努力したことが実り、自分の成長を実感できたとき」「誰かの役に立ったり、認められたりしたとき」に、大きな喜びや満足感を得ると言われています。また、美しいものや素晴らしい芸術、自然などに触れて感動したときにも、心は豊かになり、笑顔が生まれます。子どもたちの言葉は、まさにそのことを表していました。友達と笑い合えたこと、できなかったことができるようになったこと、地域の方との交流やスクールシアターに心を動かされたことなど、一つ一つの経験が、子どもたちにとって「学校は楽しい」という実感につながっていたのです。

そして、その笑顔は、自分一人だけで生まれるものではありません。友達と協力すること、励まし合うこと、頑張りを認め合うことなど、人との関わりの中で育まれていきます。だからこそ学校では、子どもたちが互いに支え合い、挑戦し、達成感や感動を味わえる場面を数多くつくることが大切だと考えています。

これからも上戸小学校では、「笑顔あふれる学校」を目指し、一人一人が「できた」「分かった」「ありがとう」「楽しかった」と感じられる教育活動を大切にしながら、子どもたちのよりよい成長につなげていきたいと考えています。

上戸小学校は創立150周年を迎えます

～創立150周年記念式典を開催します～

日時 令和8年10月31日(土) 午前10時～

会場 上戸小学校 体育館

上戸小学校は、本年度、創立150周年という大きな節目を迎えます。これまで本校を支えてくださった地域・保護者・卒業生をはじめ、多くの皆様への感謝の気持ちを込めて、記念式典を開催いたします。

地域の皆様、卒業生、関係者の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

施設めぐり 史跡めぐり 6月29日・7月7日・7月15日

若山小学校・宝立小中学校と合同で行われました。3年生は消防署や警察署などで暮らしを守る仕事について、4年生は市役所や埋立処分場などで市の仕事や環境を守る取組について学びました。5年生は放送センターや農業協同組合、里山里海自然学校を訪れ、地域産業や自然環境を支える人々の工夫や努力に触れました。6年生は市内の史跡や文化施設を巡り、珠洲の歴史や文化、先人の歩みについて理解を深めました。実際に施設を見学し、働く方々から直接お話を伺うことで、教室では得られない多くの学びや気づきがありました。また、他校の友達との交流を通して視野を広げるとともに、ふるさと珠洲の魅力や地域を支える人々の思いに触れる、貴重な学習の機会となりました。



水泳学習 7月1日（飯田小学校プール）・7月10日（若山小学校プール）

飯田小学校と若山小学校のプールをお借りし、水泳学習をしました。1・2年生は、水に慣れることを目標に、水遊びやゲームを通して、もぐったり浮いたりしながら楽しんで活動しました。3～6年生は、泳力に応じて2つのグループに分かれ、けのびやバタ足、クロールの練習など、それぞれの目標に向かって意欲的に取り組みました。回を重ねるごとにできることが増え、子どもたちは笑顔いっぱい学習を楽しんでいました。安全に気を付けながら、水に親しみ、泳力を高める充実した学習となりました。



せんだんコンサート 7月2日 **地域公開行事**

「せんだんコンサート」は、会場を体育館に変更して開催しました。多くの地域の皆様、保護者の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。子どもたちは、歌や踊り、リズム遊び、リコーダー演奏、二部合唱など、それぞれの学年らしい発表を披露し、練習の成果を十分に発揮することができました。温かな拍手に包まれ、子どもたちにとって思い出に残るコンサートとなりました。



臨海教室 7月16日

夏休みに安全に海水浴を楽しむため、臨海教室を実施し、海水浴場の利用の仕方や約束、海水浴名札の使い方を確認しました。子どもたちは友達と声を掛け合いながら、安全に気を付けて浮いたり潜ったりして楽しむことができました。また、7月11日には、PTA役員・学年委員の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。夏休み中もルールを守り、ふるさとの海に親しんでほしいと願っています。



「ハーフムーン」とフラダンスの会 7月13日 **地域公開行事**

すこやか会の活動に感銘を受けられた琢磨仁さん・啓子さん主催による「ハーフムーン珠洲応援ライブ」が開催されました。昨年度に続き2回目となる今回も、心に響く歌やフラダンスが披露され、子どもたちや地域の皆様と一緒に手拍子や踊りを楽しみました。また、江の島フラパラダイスオハナの皆様には、温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



北國こども俳壇

〔秀作〕

たんぼみちかえるがないてるかえるすき 2年 ソンドル

しゃぼん玉にじいろ光るそらいっぱい 5年 鷲 初叶

日本のわかばはとてもきれいです 2年 ソンドル

がけくずれのまちにおよいだこいのぼり 2年 櫻井 結梨

たけのこがおおきくなってたけばやし 1年 角野 凜奈

〔佳作〕

さんぼみちうぐいすきれいなこえでなく 1年 角野 凜奈

はるのそらあおくてひろいきれいだな 1年 柚 健丈

花ふぶきみんなであびたさいこうだ 3年 吉森 晴

春の海校しゃのまどからかがやくよ 5年 川端 純怜

とびうおがすばやく海をとんでいく 5年 三上 寛太

8月 行事予定	
5日（水）	・全校登校日（午前） ・どんぐりの会読み聞かせ
6日（木）	・全校登校日（午後） 緑丘中で復興イベント
11日（火）	・リフレッシュウィーク（～17日） 〔学校閉庁〕（～14日）
17日（月）	・上智・慶応大学生ボランティアによる活動支援
18日（火）	・PTA親子行事
24日（月）	・PTA親子行事
26日（水）	・全校登校日（午前）

1年生

「〇〇さん、ありがとう」

よしみせんせい、たいいくのときにかべとうりつをおしえてくれて、ありがとうごさいます。また、わからなくなったらおしえてください。10びょうあしをつけられるようにがんばります。(角野 凜奈)

すみれさん、いつもそうじをおしえてくれて、ありがとう。ほうきのやりかたがわかったよ。もっぷのやりかたもおしえてくれたから、おぼえたよ。こくばんのけしかたもおしえてくれて、ありがとう。(寺下 志衣菜)

りおなさん、きゅうしょくのときにぎゅうにゅうのおきかたをおしえてくれて、ありがとう。きゅうしょくとうばんのしかたがわかって、うれしいです。これからもきゅうしょくとうばんをがんばるね。(徳力 日南)

りおさん、しゅくだいの「さんすうのちから」をおしえてくれて、ありがとう。りおさんのおかげで、ひきざんのやりかたがわかったよ。ひるやすみにいしをみつけにこうね。きれいないしをさがそうね。(中野 佑有司)

ゆうじさん、いつもこどもきょうしつでいっしょにあそんでくれて、ありがとう。また、いっしょにあそびたいとおもっているよ。こんどはおかえきをしようね。なつやすみもいっしょにあそびたいな。(柚 健丈)



2年生

高森しゅん先生ありがとう。高森しゅん先生にはてつぼうでエビフライを教えてもらいました。高森しゅん先生にやり方を教えてもらったら、ちょっとずつできるようになってきましたが、まだできません。でも、ぜったいあきらめたくないです。(吾郷 健太)

けんたくん、バスケットを教えてくれてありがとう。

教えてくれたおかげで、シュートができるようになったよ。これからもたくさんバスケットしてたくさん教えてね。これからもよろしくね。(紺谷 莉愛)

かいりちゃん。いつも家にあそびにきてくれてありがとう。

シールこうかんとてまたのしかったよ。たくさんあそんでたのしかったね。またあそびにきてね。まってるよ。(櫻井 結梨)

★ありがとう!★

ゆいりさんありがとう。

あそびたいときにあそんでくれてありがとう。すごくたのしいよ。いっしょにあそんでいる中で、おうさまのビュッフエとブランコがたのしいよ。これからもあそぼうね。(瀬戸 葉月)

いつもありがとう。

いたいところをひやしてもらったので、はやくなりました。

休みじかんに葉月さんといっしょにほけんしつで絵を書いています。

岩崎先生、ありがとう。

(ソンドル)

3年生

わたしは、みつめさんにありがとうと思いました。わけは、昼休みにいっしょにブランコをしてくれたからです。みつめさんのおかげで、ブランコで一人のりのときは、高くブランコをこぐことができて、うれしかったです。二人のりのときは、一人のりのときよりももっと高くこぐことができてとても楽しかったです。みつめさん、ありがとう。(一宮 美月)

けんたさん、いっしょに遊んでくれてありがとう。おかげで、ひまなときも、楽しくなりました。ほかに、悲しいときや、おこったときでも、ぼくは、けんたさんと遊ぶと、なんだか楽しくなります。それに、けんたさんが遊びを少し工夫してくれると、さらに楽しくなります。ぼくは、もっとけんたさんと仲をふかめたいです。

(加藤 優宗)

ぼくが、ありがとうと思った人は、けんたさんです。きのう、学校と子ども教室が終わったあと、けんたさんが石をくれたので、ありがとうと思いました。おかげでその石を大切にしています。今度は、公園の近くで石をさがしてみて、なかったらほかの所でもさがしてみたいです。また、けんたさんやほかの人といっしょに石をさがしてみたいなと思いました。

(中野 秀有司)

みつきさん、ありがとう。みつきさんは、いつもみんなとなかよくしてくれるので、ありがとうと思っています。みつきさんのおかげで、ぼくもみんなも笑顔になります。バスケットではみつきさんのおかげで、しあひにかつことができてうれしかったです。また、いつもみんなと遊んでくれてありがとう。

(吉森 晴)



4年生

「〇〇さん、ありがとう」

私がありがとうを伝えたい人は、さらさんです。なぜかというと、子ども教室で宿題をしている時に、さらさんが「いっしょにやろう。」とさそってくれたからです。さらさんのおかげで、宿題がすぐに終わりました。今度は、さらさんが一人の時は、私がたくさんさそいたいです。さらさん、ありがとう。（吾郷 友梨奈）

私がありがとうと思った人はゆりなさんです。理由は、さか上がりができないとき、いつもあきらめずにおうえんをしてくれたり、ささえてくれたりしたからです。おかげで、私はさか上がりができるようになりました。「がんばれ。」と言ってくれたので、とても勇気がでてチャレンジしやすかったです。ゆりなさん、ありがとう。（角 珠々葉）

私がありがとうを伝えたい人は、ゆりなさんです。理由は、私が昼休みに何をして遊ぶか迷ったときに、私の好きなキャラクターとかの絵を描いてくれるからです。ゆりなさんのおかげで、今も楽しく遊んだり、楽しい思い出を作ったりすることができています。ゆりなさん、ありがとう。（三上 咲良）

ぼくが、一番ありがとうと思っている人は、まさむねさんです。理由は、いつも昼休み、長休み、子ども教室などで遊んでくれるからです。また、土日がいっしょに遊ぶときは、ぼくが持っていないゲームで遊ばせてくれます。そうさ方法やコツなどもいろいろ教えてくれたおかげで、上手にできるようになりました。まさむねさん、ありがとう。（角野 晴隆）

私がありがとうと思った人は、ソンドルさんとみつきさんです。ソンドルさんは、わたしが学校に行くときに、わざわざ家までピンポンをおして来てくれます。みつきさんは、昼休みに、「ブランコしよう。」と、やさしくさそってくれます。おかげで、昼休みを楽しくすごせて、うれしいです。これからもよろしくね。（柚 みつめ）

5・6年生

「施設めぐり、史跡めぐりの学び」

能登農業組合では、野菜を集めて出荷していることが分かりました。野菜は新鮮なうちに箱へ詰め、氷を入れて鮮度を保ちながら県外の人たちへ送っているそうです。私は、この仕事をしている人たちのおかげで、県外の人たちにも新鮮な野菜が届けられているのだと思いました。（川端 純怜）

ケーブルテレビ珠洲放送センターでは、編集などのことを教えてもらいました。昔はパソコンがなく、操作が大変だったそうですが、今はパソコンで操作できるので、放送を見直したり、間違いがないか確認したりすることができるようです。知らなかったことがたくさん知れました。（鷺 初叶）

施設めぐりを通して、どの施設でも復旧・復興のために働いていることや、それぞれの仕事にさまざまな工夫があることを知りました。また、珠洲市の生き物についても学び、自然を大切にしながら、自然の中で遊んだり、生き物を守ったりしていきたいと思いました。（三上 寛太）

施設巡りでは、いろいろなことについてわかりました。ケーブルテレビ珠洲放送センターでは、放送するときの場所は、音が響かないように工夫していることがわかりました。作ってもらったお弁当を食べて、楽しく学ぶことができたとても良い日になりました。（寺下 蓮輝）

能登農業組合では、かぼちゃが置いてあって、珠洲で消費されるのかなと思いました。でも、実はここを出発して門前町でかぼちゃを乾燥させ、穴水町で仕分けをし、京都府や大阪府に出荷されるそうです。ぼくは、いろいろな場所にかぼちゃが移動していて驚きました。（中野 煌有司）

里山里海自然学校ではSDGsにも取り組んでいました。また、来館した人たちが里山里海について学べるように、虫や昔の瓦などが展示されていて、とても面白いと思いました。施設めぐりでは、初めて知ることがたくさんあり、とても勉強になりました。（吉森 心）

特に驚いたのは奥能登すず塩田村です。塩作りを2～3人で行いたいそうですが、人手が足りず、1人で作業をしていると聞いたからです。さらに、塩が完成して売られるまでには約1か月半もかかるそうです。夜中でも火を絶やさないように見守り、眠くても朝まで起きていなければなりません。私にはとてもできないと思い、塩作りを続けている方は本当にすごいと思いました。（吾郷 梨愛奈）

史跡めぐりでは、いろいろなことを学びました。特に、奥能登すず塩田村で塩ができるまでには2～3か月もかかり、何度も同じ作業を繰り返さなければならないことを知りました。前に少しだけ塩作りを体験しましたが、とても大変だったので、昔から続く塩作りの苦労やすごさを実感しました。（紺谷 洸斗）

